

今月の

逸品

NO.31 2017.10



MUSEUM OF EDUCATION



### 中古装束人形（文官束帯・女官礼装）

島津製作所標本部 1930（昭和5）年頃

文官：200 cm × 605 cm × 485 cm 女官：290 cm × 290 cm × 480 cm  
 島津製作所標本部が販売した装束人形。1914（大正3）年に刊行された『地理及歴史学用標本目録』によると、普通学校の国史・国文の講説に用いるという意図から、実際の4分の1程度で作られた標本で、文官束帯・武官束帯・女官礼装・直衣・狩衣・直垂・素襖の7種が販売されたことが判明する。1930（昭和5）年の『地理及歴史学用標本目録』では、ここに水干が追加されており、また、そのうちの文官束帯・武官束帯・女官礼装に関しては、着付けた装束を取り外しできる上製品と、外見を重視し、装束の取り離しが不可能な並製品とが作られたようである。本資料の装束は取り外すことができず、1914年の目録に掲載された女官礼装の写真とは明らかに異なることから、1930年の目録に記された並製品と判断してよいだろう。文官の冠えいの部分が損壊するなど、保存状態は必ずしもよいとはいえないが、装束には緻密な模様が織りなされており、かつては美しいものだったことを推測させる。



島津製作所標本部  
 『地理及歴史学用標本目録』（1914年）